

2004年5月8日

関西電力株式会社 社長 藤 洋作様

大飯原発3号機の上蓋管台からの 一次冷却水漏洩に関する緊急申し入れ

若狭連帯行動ネットワーク

定期検査中の大飯原発3号機で5月5日、原子炉容器の上蓋管台の2カ所に、一次冷却水漏洩事故が発見されました。

2カ所のうち少なくとも1カ所は、管台そのものの貫通亀裂と思われます。しかも、大飯3号は、貴職の予測によれば、今後十数年間は応力腐食割れが生じないと断言していた原発です。これが全くのデタラメであったことが、明らかとなりました。貴職は、この過信に基づき、大飯3号炉ではECT検査すら行わず、貫通亀裂しか発見できない目視検査しか行われていませんでした。このように、今回の事故発生を未然に防ぐ努力すら放棄してきたのです。

私たちはここに厳重に抗議し、以下のことを要求します。

記

1. 漏洩した2カ所の管台を抜管し、原因を徹底して調査すること。
調査データを全面公開し、公開説明会を開くこと。
2. 上蓋管台が同じ材質である高浜3・4号炉、大飯4号炉運転をただちに停止し、管台を徹底して調査すること。
3. 管台を検査するECT（渦電流探傷検査）及び、UT（超音波探傷検査）の検査精度を示す実験データを公開すること。
4. 定期検査及び、定期事業者検査の昼夜突貫検査・補修工事をやめること。
検査項目の削減やインセンティブ検査の導入を求めず、維持基準によるひび割れ放置運転を行わないこと。

以上